



中島 國孝

令和元年8月大雨災害の対応について

中島 復旧状況及び今後の復旧計画は。

答弁 5月末までの復旧状況について、道路災害10か所が完了し、工事着手済13か所で着工率33%、河川災害の工事着手済6か所で着工率19%です。農地・農業用施設災害は13か所で完了をし、工事着手済み8か所、着工率は9%です。林道施設災害は7か所完了し、工事着手済み9か所で、着工率62%となっています。

今後の復旧計画については、公共土木施設災害復旧事業、農地・農業用施設災害復旧事業、林道施設災害復旧事業と共に被災年から3年間で完了することになっていますので令和2年度の完了を目指しています。しかしながら、市が行う災害復旧事業のほか佐賀県が行う災害復旧事業も多くあり、受注状況や気象状況によっては全ての箇所が令和2年度で完了することは難しいことも考えられます。

中島 補助災害とならなかった箇所についての対応は。
答弁 補助対象外の復旧工事につきましては、多面的機能支払交付金や災害復旧事業の採択要件を有効に活用していきたいと考えております。今後、国や県などの関係機関に対しても災害復旧事業の要件緩和や新たな事業創設など要望していきたいと考えております。



國信 好永

人口減少問題への対応について

國信 多久市の人口減少率が激しいが行政の施策は。

答弁 現在、人口減少対策としては、多久市定住促進条例を制定し、定住奨励金の制度を実施しています。これについては、多久市商工会や市内の不動産事業者と定期的に協議をする場を設け、よりよい定住政策となるよう2年ごとに制度の見直しを行い、新婚世帯や子育て世帯における制度の拡充を図っています。

また、メイプルタウン、中央公園東団地など住宅団地の分譲を実施するとともに、高校生までの医療費助成や児童センターの設置など、子育て環境の充実をはかり、企業誘致にも努めています。

今後、定住奨励金制度を改善し、空家バンクや移住体験住宅などの他の定住政策も併せて効果の増進を図りたいと考えています。また、福祉や教育などの充実した行政サービスと

の連携を積極的にアピールして、定住の政策と併せて効果が出るようにPRも行っていききたいと考えています。さらに、市営住宅については、良好な住環境を維持するために長寿命化を図るとともに、随時整備や補修を行っています。



中島 慶子

学校の二斉休校に伴う対応について

中島 義務教育学校の二斉休校による授業の遅れへの対応と感染防止対策の状況は。

答弁 3月の臨時休校では、9年生は入試直前でもあり、登校日を設け、入学試験に備え、他の学年では4月初めに前学年の補充学習を行いました。

4月からの臨時休校の対応として夏休み中に補充学習期間を設け、8月31日までに学習の遅れを取り戻します。1、2学期の始業式・終業式に給食を提供し、午後の授業を確保して補充学習時間に余裕を持たせていきます。

感染症防止対策として、家庭で健康状態把握のため検温を行なって登校し、マスク着用を呼びかけます。学校では、アルコール消毒や石けんでの手洗いの励行とその指導に取り組んでいます。学校生活では3密を避けるため、



席の間隔を空け、給食は一方方向に机を置き、静かに食べるなどの指導をしています。また、教室や手洗い場、トイレを見守り・生徒の下校後、教職員が分担し消毒を行い、感染防止に努めています。



樺島 永二郎

地域おこし人材活用事業について

樺島 任期途中で退任した3名の原因は、それに対する対応策は。

答弁 原因として、隊員の想いと、こちらの求めている部分が、活動を続けていく中でズレが生じたのではないかと受け止めています。

改善策として、現在、募集中ですが、明確に何をしたいというのを明記し募集をかけ、ズレが生じないようにする。また、募集時に詳細を示すのは限界があるので、採用時に、担当と話をし、ズレを修正していきます。

【その他】
・学びの確保「オンライン学習」環境の導入
・男女共同参画の推進について

樺島 隊員として活動し、その後に新たな事業を起そうとする若者たちを束ねてサポートすることが自治体側に求められると思うが、移住してきた若者が挑戦する上で適切なサポート体制を考えているのか。

答弁 就業に向けての相談、アドバイザーを行っており、支援するための補助金要綱等も設けています。また、協力隊員のスキルにもよりますが、定着を最終的に目指して、その支援を行うっていくことを考えています。

樺島 隊員として来てくれた、優秀な人材を、うまく活動できなかったと言ったことにならないよう、対応していただきたい。

